

特定非営利活動法人先端医療推進機構

特定認定再生医療等委員会名古屋（NA8150002）

# 審査等業務の過程に関する記録

2020年12月15日 開催



〒466-0811 愛知県名古屋市昭和区高峯町13番地8

特定非営利活動法人先端医療推進機構

## 審査等業務の過程に関する記録

<開催日時> 2020年12月15日(火) 19時00分～20時00分

<開催場所> 愛知県名古屋千種区千種2-24-2

先端医療推進機構内会議室

<議題一覧>

### 1【新規審査】【第二種 治療】

医療法人社団康静会 長野静脈瘤クリニック (管理者: 喜多村 健一)

多血小板血漿 (Platelet-rich plasma: PRP) を用いた変形性関節症

\* 査読者: 岩田久先生、出家正隆先生

### 2【新規審査】【第二種 治療】

医療法人弘仁会 板倉病院 (管理者: 梶原 崇弘)

自家脂肪組織由来幹細胞 (ASC) の投与による変形性関節症治療

\* 査読者: 岩田久先生、出家正隆先生

### 3【新規審査】【第二種 治療】

医療法人社団創明会 日本橋整形外科クリニック (管理者: 正木 創平)

自家脂肪組織由来幹細胞 (ASC) の投与による変形性関節症治療

\* 査読者: 林祐司先生

### 4【新規審査 継続審査】【第二種 治療】

医療法人社団 善賢善明健康医学支援会 高岡西洋医学東亜医学医院 (管理者: 高岡 千容)

自家脂肪由来幹細胞を用いた変形性膝関節症の治療

### 5【変更審査】【第二種 治療】PB3180127

医療法人社団ナチュラルハーモニー ナチュラルハーモニークリニック表参道 (管理者: 大賀 勇人)

膝変形性関節症に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた治療

### 6【変更審査】【第二種 治療】PB4200001

医療法人社団康静会 金沢静脈瘤クリニック (管理者: 河野 匡哉)

多血小板血漿 (Platelet-rich plasma: PRP) を用いた変形性膝関節症治療

### 7【定期報告】【第二種 治療】PB3190006

医療法人社団医進会 小田クリニック (管理者: 小田 治範)

自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた変形性膝関節症治療

8【定期報告】【第二種 治療】PB3190065

医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院（管理者：増田 剛）

肩関節・肘関節・手関節・股関節・膝関節・足関節における変形性関節症を対象とした自己多血小板血漿療法

9【定期報告】【第二種 治療】PB5190030

医療法人社団リハケア会 西川整形外科リハビリクリニック（管理者：西川 哲夫）

脂肪組織由来幹細胞（ASC）の投与による変形性関節症治療

<委員の出欠>

出欠 *1	氏名	構成要件 *2	所属 及び 役職	性別	本委員会を設置する者との利害関係
×	成瀬 恵治	①	【医師】 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 システム生理学教授	男	無
○	林 衆治	②	【医師】 一般財団法人グローバルヘルスケア財団 理事長 一般財団法人クリニックチクサヒルズ 院長	男	有
○	林 祐司	②	【医師】 日本赤十字社 名古屋第一赤十字病院 形成外科部長 (皮膚科部長兼任)	男	無
○	横田 充弘	③	【医師】 愛知学院大学 ゲノム情報応用診断学講座 客員教授 医療法人知邑舎岩倉病院 特別顧問 (循環器科)	男	無
×	三宅 養三	③	【医師】 愛知医科大学 理事長 名古屋大学名 誉教授	男	有
×	小林 達也	③	【医師】 一般財団法人クリニックチクサヒルズ アドバイザー (脳疾患領域)	男	無
○	池内 真志	④	東京大学大学院 情報理工学系研究科 講師 (システム情報学専攻)	男	無
×	増本 崇人	④	一般財団法人グローバルヘルスケア財団 研究員	男	無
×	北村 栄	⑤	【弁護士】 名古屋第一法律事務所	男	無
×	青山 玲弓	⑤	【弁護士】 名古屋第一法律事務所	女	無
○ ☆	永津 俊治	⑥	【医師】 藤田医科大学 医学部・アドバイザー (特別名誉教授) 名古屋大学 名誉教授 東京工業大学 名誉教授	男	有
○	四方 義啓	⑦	名古屋大学 名誉教授 多元数理研究所	男	有
×	坂井 克彦	⑧	株式会社中日新聞社 相談役	男	無
○	中村 勝己	⑤	弁護士法人後藤・太田・立岡法律事務所	男	無
○	長尾 美穂	⑧	名古屋第一法律事務所	女	無
○	林 依里子	⑧	特定非営利活動法人先端医療推進機構 副理事長	女	有

\*1 ○ 出席, × 欠席, ☆ 委員長

\*2 特定認定再生医療等委員会 構成要件

① 分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家

- ② 再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の見識を有する者
- ③ 臨床医
- ④ 細胞培養加工に関する見識を有する者
- ⑤ 医学又は医療分野における人権の尊重に関して理解のある法律に関する専門家
- ⑥ 生命倫理に関する見識を有する者
- ⑦ 生物統計その他の臨床研究に関する見識を有する者
- ⑧ 一般の立場の者

<陪席者>

岩田 久 (整形外科学領域アドバイザー)

出家正隆 (整形外科学領域アドバイザー)

石原 守 (特定非営利活動法人先端医療推進機構 職員)

## 【新規審査】【第二種 治療】

医療法人社団康静会 長野静脈瘤クリニック（管理者：喜多村 健一）

多血小板血漿（Platelet-rich plasma：PRP）を用いた変形性関節症

- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：岩田久アドバイザー
- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：出家正隆アドバイザー
- ・当委員会が発行した審査受付番号：378
- ・審査資料の受領年月日：2020年11月30日

## 【結論 及び その理由】

審査の結果、出席委員の全会一致により「条件付き承認」とし、指摘事項の修正が正しくなされたことをもって、本計画の提供の開始を承認することとした。

簡便な審査等の結果、指摘事項の修正が正しくなされたことを確認した。

## 【審査内容】

### (1. 審査前の確認・報告事項)

- ・当該医療機関と利害関係を有している委員、及び技術専門員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。
- ・本計画を審査するにあたり、岩田久アドバイザーおよび出家正隆アドバイザーが査読を行ったことが報告された。
- ・技術専門員から評価書が提出されていることが報告された。

### (2. 技術専門員による説明)

技術専門員より、本計画の内容、及び評価書の内容に関して説明された。説明内容は下記のとおり。

- ・本計画は、多血小板血漿（Platelet-rich plasma：PRP）を用いた変形性関節症治療を目的とした第二種の治療であること。
- ・「再生医療等提供計画」の「提供する再生医療等の安全性についての検討内容」について、「腱症」の内容が含まれており、当該計画には不相当である。
- ・実施責任者の医師は、内科専門医であり、変形性膝関節症への治療経験はあるが、膝関節以外への再生医療等を行う医師として適切かどうか、疑問が残ること。
- ・その他、書類に不備があるため、修正が必要である。

技術専門員の説明後、委員により審査が行われた。

### (3. 審査内容)

[意見]実施責任者の対象治療に対する適応に関しては、膝関節に限定してもらうのはどうか。

→[意見]異議なし。

[意見]「再生医療等を受ける者に対する説明文書および同意文書」の「PRPとは」に、「血小板の濃縮液を活性化したものを指しています」とあるが、PRPは活性化をしたものなのか。

→[意見]濃縮をさすため、活性化は削除してもらうのが望ましい。

[意見]「再生医療等を受ける者に対する説明文書および同意文書」について、注入部位の表記がわかりにくい部分があり、患者の理解という視点から見れば、関節内注入であることを明記してもらったほうが良いと思われる。

[意見]その他意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]上記の指摘事項の修正が正しくなされたことをもって、本計画の提供の開始は差支えない。

→[意見]上記の指摘事項の修正を求め、「簡便な審査等」にて再度審査を実施し、修正が正しくなされたことをもって、本計画の提供の開始を承認することとした。

#### (4. 簡便な審査等)

開催日時：2021年1月25日（月）18時20分～18時40分

開催場所：愛知県名古屋市千種区千種 2-24-2

特定非営利活動法人先端医療推進機構内事務局

出席委員：林 祐司、林 衆治

審査資料の受領月日：2021年1月20日

2021年1月20日に修正後の審査資料を受領した。

林 祐司委員、林 衆治委員の2名により、簡便な審査等が行われた。

審査の結果、前回の審査での指摘事項の修正が正しくなされたことを確認した。

[備考] 2021年1月26日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

## 【新規審査】【第二種 治療】

医療法人弘仁会 板倉病院（管理者：梶原 崇弘）

自家脂肪組織由来幹細胞（ASC）の投与による変形性関節症治療

- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：岩田久アドバイザー
- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：出家正隆アドバイザー
- ・当委員会が発行した審査受付番号：375
- ・審査資料の受領年月日：2020年11月23日

## 【結論 及び その理由】

審査の結果、出席委員の全会一致により「再審査」とした。

## 【審査内容】

### (1. 審査前の確認・報告事項)

- ・当該医療機関と利害関係を有している委員、及び技術専門員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。
- ・本計画を審査するにあたり、岩田久アドバイザーおよび出家正隆アドバイザーが査読を行ったことが報告された。
- ・技術専門員から評価書が提出されていることが報告された。

### (2. 技術専門員による説明)

技術専門員より、本計画の内容、及び評価書の内容に関して説明された。説明内容は下記のとおり。

- ・本計画は、自家脂肪組織由来幹細胞（ASC）を用いた変形性関節症治療を目的とした第二種の計画であること。
- ・細胞加工は「セルソース再生医療センター（施設番号：FA3160006）」に委託すること。
- ・再生医療等に用いる細胞および特定細胞加工物の輸送についての情報が不明確であること。
- ・「再生医療等に用いる細胞」の採取方法について、資料によって記載が異なっている部分があること。
- ・その他、書類に不備があるため、修正が必要である。

技術専門員の説明後、委員により審査が行われた。

### (3. 審査内容)

[意見]関節ごとに投与量、細胞数を記載する必要はないか。

→[意見]関節ごとに設定する細胞数の有効性の根拠を示してもらう必要がある。

[意見]「再生医療等提供計画」の「再生医療等を受ける者に関する情報の把握のための措置の内容」について、記載内容が適当ではないため修正が必要である。

[意見]「再生医療等を受ける者に対する説明文書および同意文書」の「他の治療法」についての比較対象が少なすぎるため、追加が必要である。

[意見]  $1 \times 10^7 \sim 3 \times 10^7$  個と幅をもたせた書き方がされているが、最小値の細胞数における効果の裏付

けはあるのか。

→[意見]回答を求める。

[意見]特定細胞加工物が当該医療機関に到着してから、投与までの詳細を記載する必要がある。

→[意見]解凍条件等の詳細な情報を求める。

→[意見]クリーンベンチで操作するとの記載もあるため、医療機関内クリーンベンチの置かれている部屋の見取り図も必要である。

[意見]その他意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]指摘事項に対し回答を求める。また修正を要する点もあるため、再審査が望ましい。

→[意見]異議なし。

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画は再審査とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

## 【新規審査】【第二種 治療】

医療法人社団創明会 日本橋整形外科クリニック（管理者：正木 創平）

自家脂肪組織由来幹細胞（ASC）の投与による変形性関節症治療

・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：林祐司委員

・当委員会が発行した審査受付番号：376

・審査資料の受領年月日：2020年11月23日

## 【結論 及び その理由】

審査の結果、出席委員の全会一致により「再審査」とした。

## 【審査内容】

### (1. 審査前の確認・報告事項)

- ・当該医療機関と利害関係を有している委員、及び技術専門員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。
- ・本計画を審査するにあたり、林祐司委員が査読を行ったことが報告された。
- ・技術専門員から評価書が提出されていることが報告された。

### (2. 技術専門員による説明)

技術専門員より、本計画の内容、及び評価書の内容に関して説明された。説明内容は下記のとおり。

- ・本計画は、自家脂肪組織由来幹細胞（ASC）を用いた変形性関節症治療を目的とした第二種の計画であること。
- ・細胞加工は「セルソース再生医療センター（施設番号：FA3160006）」に委託すること。
- ・「再生医療等提供計画」の「救急医療に必要な施設又は設備」について記載の装置は、クリニックで当然に所持していると思われるので、他の医療機関に関しては高度医療機器を記載すべきであること。
- ・「再生医療等提供計画」の「再生医療等を受ける者に関する情報の把握のための措置の内容」について、記載内容が適当ではないこと。
- ・「再生医療等を受ける者に対する説明文書および同意文書」の「他の治療法」についての比較対象が少なすぎるため、PRP、ステロイド、さらにすでに実施している PRP-FD 等との対比が必要であること。
- ・その他、書類に不備があるため、修正が必要である。

技術専門員の説明後、委員により審査が行われた。

### (3. 審査内容)

[意見]関節ごとに投与量、細胞数を記載する必要はないか。

→[意見]関節ごとに設定する細胞数の有効性の根拠を示してもらう必要がある。

[意見]  $1 \times 10^7 \sim 3 \times 10^7$  個と幅をもたせた書き方がされているが、最小値の細胞数における効果の裏付けはあるのか。

→[意見]回答を求める。

[意見] 再生医療等に用いる細胞および特定細胞加工物の輸送についての情報が不明確であること。

→[意見]解凍条件等の詳細な情報を求める。

→[意見]特定細胞加工物が当該医療機関に到着してから、投与までの詳細を記載する必要がある。

[意見] 「再生医療等に用いる細胞」の採取方法について、資料によって記載が異なっているため、資料間で内容に齟齬がないように修正する必要がある。

[意見]その他意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]指摘事項に対し回答を求める。また修正を要する点もあるため、再審査が望ましい。

→[意見]異議なし。

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画は再審査とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【新規審査 継続審査】【第二種 治療】

ちぐさクリニック（管理者：高岡 千容）

自家脂肪由来間葉系幹細胞を用いた変形性膝関節症の治療

・当委員会が発行した審査受付番号：307

・審査資料の受領年月日：2020年10月30日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

・当該医療機関と利害関係を有している委員、及び技術専門員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。

(2. 事務局による説明・意見)

事務局より、本計画の内容に関して説明がされた。説明内容は下記のとおり。

・本計画は、2019年11月19日（火）に新規審査 再審査、2020年9月15日に継続審査を行ったが、再度、審査資料を求め、2020年11月17日に審査を行った。その際に至った結論は下記のとおり。

（1）問題のあった医療機関に対して、管轄の厚生局の対応を示す根拠の書類を事務局に求める上記内容について、九州厚生局に問い合わせを行い、回答を得た。

事務局の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

【意見】 これまでに提出された資料、および細胞加工施設が現在も動いている現状から、承認とすることでよいか。

→【意見】 異議なし。

【意見】 医療機関名が変更になったとの報告を受けているため、各資料について名称の変更を行ってもらい、事務局にて確認後、意見書を発行すること。

→【意見】 異議なし。

審査の結果、出席委員の全会一致により本計画を承認とした。

【備考】2021年2月12日に資料を拝受後、事務局にて確認を行い、2021年2月16日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【変更審査】【第二種 治療】PB3180127

医療法人社団ナチュラルハーモニー ナチュラルハーモニークリニック表参道 (管理者:大賀 勇人)  
膝変形性関節症に対する自己脂肪由来幹細胞を用いた治療

- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家): 岩田久アドバイザー
  - ・当委員会が発行した審査受付番号: 121
- ・審査等業務の対象となった再生医療等提供計画を受け取った年月日: 2019年2月4日
  - ・審査資料の受領年月日: 2020年12月9日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の変更を「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

- ・当該医療機関と利害関係を有している委員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。
- ・本計画を審査するにあたり、岩田久アドバイザーが技術専門員として査読を行ったことが報告された。
- ・技術専門員から評価書が提出されていることが報告された。

(2. 技術専門員による説明・意見)

技術専門員より、本計画の内容、及び評価書の内容に関して説明がされた。説明内容は下記のとおり。

(1) 実施医師の追加。

技術専門員の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

[意見]技術専門員の指摘事項に異論はない。

[意見]他に意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]以上の議論を踏まえて、本計画の変更は承認とすることでよいか。

→[意見]異議なし。

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の変更を承認とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【変更審査】【第二種 治療】PB4200001

医療法人社団康静会 金沢静脈瘤クリニック（管理者：河野 匡哉）

多血小板血漿（Platelet-rich plasma：PRP）を用いた変形性膝関節症治療

- ・技術専門員(再生医療等の対象疾患の専門家)：岩田久アドバイザー
  - ・当委員会が発行した審査受付番号：122
- ・審査等業務の対象となった再生医療等提供計画を受け取った年月日：2015年9月7日
  - ・審査資料の受領年月日：2020年2月5日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の変更を「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

- ・当該医療機関と利害関係を有している委員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。
- ・本計画を審査するにあたり、岩田久アドバイザーが技術専門員として査読を行ったことが報告された。
- ・技術専門員から評価書が提出されていることが報告された。

(2. 技術専門員による説明・意見)

技術専門員より、本計画の内容、及び評価書の内容に関して説明がされた。説明内容は下記のとおり。

(1) 実施責任者の変更。

技術専門員の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

[意見]技術専門員の指摘事項に異論はない。

[意見]他に意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]以上の議論を踏まえて、本計画の変更は承認とすることでよいか。

→[意見]異議なし。

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の変更を承認とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【定期報告】【第二種 治療】PB3190006

医療法人社団医進会 小田クリニック（管理者：小田 治範）

自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた変形性膝関節症治療

・当委員会が発行した審査受付番号：430

・審査等業務の対象となった再生医療等提供計画を受け取った年月日：2016年7月11日

・審査資料の受領年月日：2019年3月18日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続を「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

・当該医療機関と利害関係を有している委員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。

(2. 事務局による説明)

事務局より、定期報告対象期間(2019年6月12日～2020年6月11日)に実施された本計画に関して、以下のことが説明された。

- (1) 「再生医療等提供計画」によると、本計画は自己脂肪由来間葉系幹細胞を用いた第二種の治療で、対象疾患は変形性膝関節症であること。
- (2) 再生医療等を受けた者の数は12名、再生医療等の投与件数は14件であること。
- (3) 疾病等の発生はなく、安全性の評価については、投与後3ヶ月に電話確認にて痛みの憎悪、発疹、アレルギー反応の有無について確認していること。
- (4) 科学的妥当性の評価については、血液検査、問診により確認していること。

事務局の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

[意見]本報告についてどうか。

→[意見]問題ないと思われる。

[意見]他に意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]以上の議論を踏まえ、当該再生医療等を継続することは差支えないとの結論でよいか。

→[意見]異議なし。

出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続は差し支えないと判断され、本計画の提供の継続を承認とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【定期報告】【第二種 治療】PB3190065

医療生協さいたま生活協同組合 埼玉協同病院（管理者：増田 剛）

肩関節・肘関節・手関節・股関節・膝関節・足関節における変形性関節症を対象とした自己多血小板血漿療法

・当委員会が発行した審査受付番号：439

・審査等業務の対象となった再生医療等提供計画を受け取った年月日：2019年9月11日

・審査資料の受領年月日：2020年12月11日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続を「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

・当該医療機関と利害関係を有している委員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。

(2. 事務局による説明)

事務局より、定期報告対象期間(2019年10月23日～2020年10月22日)に実施された本計画に関して、以下のことが説明された。

- (1) 「再生医療等提供計画」によると、本計画は自己多血小板血漿を用いた第二種の治療であり、対象疾患は変形性関節症であること。
- (2) 再生医療等を受けた者の数は2名、再生医療等の投与件数は2件であること。
- (3) 疾病等の発生はなく、安全性の評価については、診察及び電話にて健康被害等の確認を行っていること。
- (4) 科学的妥当性の評価については、KOOS等を指標としており、コロナにより評価が行えていない患者もいること。

事務局の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

[意見]本報告についてどうか。

→[意見]問題ないと思われる。

[意見]他に意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]以上の議論を踏まえ、当該再生医療等を継続することは差支えないとの結論でよいか。

→[意見]異議なし。

出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続は差し支えないと判断され、本計画の提供の継続を承認とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

【定期報告】【第二種 治療】PB5190030

医療法人社団リハケア会 西川整形外科リハビリクリニック（管理者：西川 哲夫）

脂肪組織由来幹細胞（ASC）の投与による変形性関節症治療

・当委員会が発行した審査受付番号：433

・審査等業務の対象となった再生医療等提供計画を受け取った年月日：2019年6月25日

・審査資料の受領年月日：2020年11月20日

【結論 及び その理由】

---

審査の結果、出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続を「承認」とした。

---

【審査内容】

(1. 審査前の確認・報告事項)

・当該医療機関と利害関係を有している委員はいないため、本計画の審査等業務は全ての委員が参加できることが確認された。

(2. 事務局による説明)

事務局より、定期報告対象期間(2019年11月5日～2020年11月4日)に実施された本計画に関して、以下のことが説明された。

- (1) 「再生医療等提供計画」によると、本計画は脂肪組織由来幹細胞（ASC）を用いた第二種の治療であり、対象疾患は変形性関節症であること。
- (2) 再生医療等を受けた者の数は4名、再生医療等の投与件数は6件であること。
- (3) 疾病等の発生はなく、安全性の評価については、投与1ヶ月および3ヶ月後に問診を行い、有害事象の有無について確認していること。
- (4) 科学的妥当性の評価については、VAS、IKDC、KOOSにより確認していること。

事務局の説明後、委員により審査が行われた。

(3. 審査内容)

[意見]本報告についてどうか。

→[意見]問題ないと思われる。

[意見]他に意見はないか。

→[意見]なし。

[意見]以上の議論を踏まえ、当該再生医療等を継続することは差支えないとの結論でよいか。

→[意見]異議なし。

出席委員の全会一致により、本計画の提供の継続は差し支えないと判断され、本計画の提供の継続を承認とした。

[備考] 2021年1月5日に認定再生医療等委員会意見書を発行した。

以上